



Innovation for the Rotary club ロータリーに新風を 2012年9月のロータリーレートの1ドル=80円
9/20 中尾哲雄ガバナー公式訪問です。全員出席をお願いします。

パストガバナーからの手紙
～中尾ガバナーに捧げる一文～

9月20日用

「キリスト教(プロテスタント)と近代資本主義」

パストガバナー 炭谷 亮一

キリスト教(特にプロテスタント)は本来は富を忌避する宗教である。国教となり富者の宗教となっても、その基本は変わっていない。アメリカの1900年代初頭の大富豪、鉄鋼王カーネギーは慈善活動の元祖とも言われている。「富を抱えて死ぬのは不名誉な死に様だ!!」と名文句を残し「息子に莫大な財産を残せば、息子の才能と活力を殺すことになるのが常である」とも言った。事実カーネギーは生涯を通じて資産の大半を慈善活動に寄付した。古来プロテスタントの多くは死の直前に全財産を教会に寄付・委託し無一文で死を迎えた。しかし経済活動が盛んになると、富の増大を肯定する教義解釈求められた。特に金融業者や商人にこれを切望した。そこですべての職業は尊いと主張したマルチン・ルターが宗教改革の先鞭をつけると、カルバンの様に商工業を評価する神学者が現れる。カルバンの教えは、主にオランダやイギリス(ピューリタン)に伝わり、近代資本主義の基本的精神となったと「マックス・ウェーバー」は言っている。ピューリタンは質素・儉約を説き、自己責任の倫理を奨励した。そのいわば純粋培養形態が米国の資本主義だ。古い伝統のある欧州と異なり、新天地米国はピューリタンの理想を純粋に展開出来た。米国人が持つ誠実さと資本の拡大に手段を選ばない異常な厳しさは、ピューリタンのな使命感なしに説明出来ない。この宗教観倫理観の理解無くして、マイクロソフトのビル・ゲイツや投資家のウォーレン・バウエツなどが資産の大半を慈善活動に寄付するという、本意を理解出来ないであろう。振り返って見れば、我が国の元首相は恒例となっている国会議員の資産公開で不備を指摘され、その説明として母親より毎年数億円を継続的に数年にわたり相続したと釈明し、贈与税の未払いを指摘され一括して何十億の滞納税

クラブ例会予定 2012-2013年度	
9/6	ガバナー補佐訪問
9/13	浅田 正文様
9/20	中尾哲雄ガバナー公式訪問
9/27	小幡 謙二氏(香林坊RC)
10/4	高仲 強氏(金沢大学附属病院放射線治療科)

2012～2013

(役員) 会長:北山吉明 エコ:野城 勲 副会長:宮永満祐美 幹事:川きみよ 副幹事:上杉輝子

直前会長 会計:西村邦雄

(理事) クラブ管理運営委員長:村田祐一 副:相良光貞(親睦:金沂秀 プログラム:若狭豊

SAA:上杉輝子 ニコニコ:井口千夏 友好・クラブ細則:魏賢任)

奉仕プロジェクト委員長:竹田敬一郎 副:後出博敏(職業:土田初子 社会新世代:武藤清秀

国際:宮永満祐美 ラオスプロジェクト:岩倉舟伊智)

会員組織委員長:二木秀樹 副:江守巧 会員増強修練:金沂秀

ロータリー財団委員長:藤間勘菊 副:東海林也令子(ロータリー財団・米山:藤間勘菊 年次寄付:北山吉明)

広報委員会委員長:吉田昭生 副:江守道子(広報:谷伊津子 ロータリー情報:木場紀子

会報:石丸幹夫) 常任理事:石丸幹夫

★太字:理事役員

長期姉妹クラブ担当 南光州:金 石丸 岩倉 江守巧 村田 東京世田谷中央:炭谷 岩倉 石丸 木村幸生 藤間

京都北東:炭谷 杵屋 水野 高崎:石丸 村田 藤間 宮永

例会場 ホテル日航金沢 5F 〒920-0853 金沢市本町 2-15-1 T076-234-11111 例会日時 木曜日 19:00

事務室 ライブ1ビル 2F 〒920-0852 金沢市此花町 3-2 T262-2211 F262-2241 (事務局) 阿原美和

E-mail khrc@quartz.ocn.ne.jp ホームページ URL http://www17.ocn.ne.jp/~hrc/

事務局執務時間 月火水金 9:00～15:00 木 9:00～12:00、17:30～20:00 休憩時間 12:00～13:00

休日(土日祝日) 幹事 川きみよ 090/9766/6666 副幹事 上杉輝子 090

をポンと支払ったという我々庶民にはちょっと信じられないような行動をとった。今回も民主党の分裂に際し、やはり母親から数十億円を相続すると言う、なんて情けない行為ではないか、少しはビル・ゲイツの爪の垢でも煎じて飲ませてやりたいと思うのは私だけではないはずである。

私はいかなる偉大な人であれ、富者であれ、死ぬ時は皆同じなのだから死者の残した資産の大半を国が相続税としていただくべきと考えている。

日本に「子孫に美田を残さず」と言う優れた格言があることを思い出してほしい。



例会優り

667回

ホテル日航金沢5F

2012 9.13 (木) 19:00

出席率 19/35 54.29%

8月修正出席率 71.24%

点 鐘

SONG 『我らの生業』

四つのテスト

北山吉明会長 挨拶：9月11日で震災1年半を迎えました。9月11日時点での被害者数は死者1万5870名 行方不明2814名です。現在でも、遺体の発見が続いています。8月2日時点の避難・転居者 34万3334名です。朝日新聞による現時点での状況です。



①被災した岩手、宮城、福島で、入院の受け入れをやめたり、制限していた191院が、1年半で27院に減少しました。この27院の損傷は激しく、復旧にはまだ時間がかかるそうです。

②3県で他校に間借りしていた学校数が136から68に減りましたが、逆に仮設校舎を使っている学校数が42から74と増えています。まだ不便な状況が続いています。

③仮設住宅は3県で、ほぼ必要数(約五万三千戸)が建設されました。問題は、居住期間の3年が終わった後の主な居住先となる災害公営住宅の着工が進まず、現在着工済みは1%です。自宅の自力再建を断念する人が増えていますのでこの公営住宅の建設が急がれます。

④ボランティアの数が震災直後に比べて激減しています。宮城は9万3千から6100人へ、岩手は4万から7500人へ、福島は1000人です。福島は原発事故の影響でボランティアを躊躇する人が多いとの見方もあります。ボランティアの内容もどんどん変化しつつありますが、いずれにしても息の長い長期的の支援が必要です。日本人の震災記憶が風化しつつしているとすれば大変ですね。



短期のアメリカ留学でしたが、今度は長期で行きたい。と川 拓真君

⑤福島では今もなお汚染との闘いが続いています。内閣府原始力災害対策本部による放射性セシウムの分布変化予測では、21年後でも警戒区域や計画的避難区域の一部で、年間20以上50ミリシーベルト未満の地区が残存しています。セシウムは土壌、川、森に複雑に拡散していますので、除染に関する多くの研究が緊急的に必要です。学問とは人々の安心、安全、平和に寄与するものを言います。また、除染による放射性廃棄物(土、草、瓦礫など)の貯蔵施設問題は依然として解決していません。

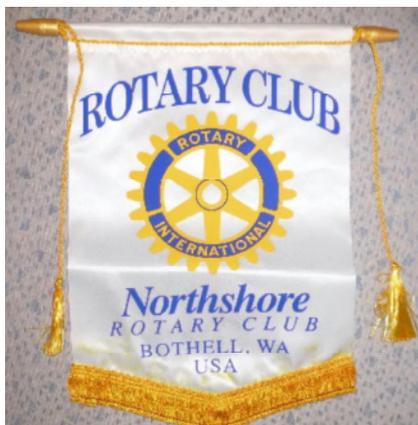
まだまだ、日本はがんばらなければいけません。

ゲスト紹介 (卓話者) 浅田 正文 様 令夫人

(アメリカ短期交換留学生) 川 拓真様

ビジターの紹介 金沢香林坊RC 青山 幸司 様

皆出席顕彰 14カ年 谷 伊津子会員 6カ年 藤間 勘菊会員



《食 事》

炭谷亮一パストガバナー： 被災地への図書の寄贈について 明文堂の清水さんをお願いして購入価格の二倍の数の図書を送っていただきました。



宮城県南三陸町教育委員会教育長佐藤達朗氏より 直前ガバナー当での御礼状をいただきました。読み上げます。

謹啓、初秋の候、国際ロータリー第2670地区様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

先日、貴地区からお寄せいただいた町内小学校への図書支援につきましては、ありがたくこれを頂戴させていただくとともに、衷心より感謝を申し上げます。

ご承知のとおり、今般発生した東日本大震災より、当町においては、八百人あまりの町民が死亡・行方不明、住宅の七割が全半壊、道路や漁港といったインフラ施設もその殆どが被災、さらには、役場庁舎も流失してしまうという未曾有大火災に襲われ、被災当初はまさに呆然自失の状況でありました。

しかしをがら、災害発生から一年半を経過した現在においては、多くの個人・団体の皆様方からの御支援により、本町は、少しずつではありますが、着実に復旧、復興の道をたどっております。

今回頂戴いただいた図書につきましては、子どもたちの学習のため、大切に使用させていただきたいと考えております。

どうか、貴地区におかれましては、今後も本町の復興に向けた未知なる挑戦に対し、これまで同様の御指導、御鞭撻を賜りますよう、お願いを申し上げます、まずは、取り急ぎ、書面により御礼を申し上げます。大変有り難うございました。 謹白

平成二十四年九月吉日

宮城県南三陸町 教育委員会 教育長 佐藤達朗

国際ロータリー第2670地区様



尚、金沢百万石ロータリー宛てにその他多くの御礼の手紙がありました。 気仙沼大島小学校から 菊田榮史郎校長先生、保護者の大島こずえさん。5年1組 小野寺勇斗君等

大島が生んだ詩人 水上不二氏は 「海はいのちのみなもと 波はいのちのかがやき 大島よ永遠にみどりの真珠であれ」という詩を残しました。 復興に頑張ります。

幹事報告・委員会報告



川きみよ幹事： ①指導者育成セミナーについて：

2012/11/10(土)(場所:富山国際会議場)(ホスト：富山大手町RC)です。

②今月の商品はマスカットサイダーです：NPO法人の「災害支え愛ネットワークさくら」理事長 宮本美奈子さんによると「陸前高田の被害はあまりにも衝撃的でした。今年の5月に神田葡萄園に行き、店舗は大人の背丈ほどの浸水があった事をしました。多くのボランティアお支援により、復興できました。飲んで見て下さい」。

との事です。



藤間勸菊米山委員長： ① 10/27 (土) 第 4 回中国米山学友会が上海でおこなわれます。魏賢任さんよろしければいらして下さい。9/30 〆切りです。

②それから韓国ソウル市在住の米山学友、李キョンヨブさんが米山記念奨学会に10万円のご寄付をされました。(詳細5ページ)

木場紀子ロータリー情報委員長：ロータリーの友を見て下さい。この白い紙の処に日本全部の例会の時間と場所がのっています。



ニコニコ Box

¥7,000- 本年度 ¥137,000- 残高 ¥4,213,879-

北山会長：①浅田さん、本当によろこそ！②川拓真くん、よろこそ！上杉会員：川さん、お帰りなさい。浅田様、本日のお話楽しみにしています。炭谷会員：川君、お帰りなさい。浅田様、今夜は御苦労様です。西村会員：浅田様、よろこそ。卓話期待しています。宮永会員：浅田様をお迎えて。川さん、お帰りなさい。 学郊外で一週間、孫のもりしていました。

講話の時間

「さようなら原発 生まれ変わろう日本」 浅田 正文 様

浅田 正文 プロフィール



920-0823 金沢市夕日寺町ホ 175 T&F 076-205-8250
080-5565-7236 asadam@helen.ocn.ne.jp

<簡単なプロフィール>

- ・ハイロアクション福島 40 年実行委員。脱原発ふくしまネットワーク、脱原発・東電株主運動などに参加。
- ・福島原発告訴団 同北陸事務局 東電株主代表訴訟原告
- ・東京でシステムエンジニアとして働いていたが、17 年前に福島県都路村(みやこじむら：現田村市都路町)に移住し山村での生活を始める。気がついてみれば自給自足の生活に。
- ・都路町が緊急時避難準備区域(9/30 に解除)に指定されたため、現在は金沢市で避難生活中。

<所属>

ハイロアクション福島 40 年実行委員 脱原発ふくしまネットワーク 脱原発
・東電株主運動 緑の党
福島県自然保護協会・日本自然保護協会会員



紹介の
江守巧会員

<経歴>

- 1941 年 東京生まれ
- 1960 年 会社勤務。主にシステム開発・運用・管理 に従事
- 1995 年 東京から福島県都路村(みやこじむら：現田村市)へIターン
自給自足を目指した生活を始める。
- 1999 年 都路村議(1 期)：一般廃棄物最終処分場建設に反対、目的を達成。1 期で退く。福島県自然保護協会会員として自然保護活動に加わる。最近は特に、脱原発を中心に活動。
- 2011 年 3・11 原発大惨事により 3/13 から金沢市に避難。
- 2011-06-28 東電株主総会で株主提案趣旨説明 ～避難生活 1 年 6 ヶ月 今の気持ち～

主な内容：

- ・福島での生活(東京から移住・自給自足)
- ・避難後の気持ち(金沢の方の優しさ温かさ、一方で原子力村の姿勢・哀しみ)
- ・これからに向けて(即時脱原発・刑事告訴・株主代表訴訟)
- ・「省エネ」から「少エネ」社会へ！ 生まれ変わろう日本

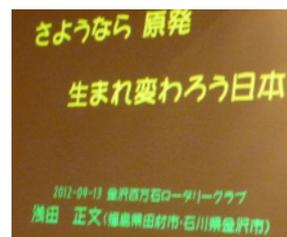
講話要旨： 金沢市へまいりまして、様々な私達への援助を有り難うございます。二回目の秋です。そして背広を着たのも 2 回目です。格式あるロータリークラブの例会です。3/12 に第一号機の原発の爆発があり、金沢に来ないかと電話がありました。その日の夜に 25 km の避難の指示が出て、行く事にしました。地震の状況のスライドにての説明：、水洗便所、屋根瓦、ボイラー配管、畑や田んぼの状態などが大変な被害をうけていました。4.585 マイクロシーベルトにも達しました。金沢は 0.05 です。秋には栗も実り、地面には実がおちてましたが、食べる事は出来ません。畑も荒れ果てて、イノシシが出没しています。しかし、きれいな水芭蕉は咲きました。金沢に来て昨年餅つき大会に誘われました。そして畑も借りることができました。雑草と作物は共存します。草が土地の乾燥を防ぎ、大雨で土が流れるのを防ぎます。



私の今までの生活のスライド： 稲作風景、渋柿を干し柿にするとスズメバチが食べに来る。残りを人間が食べる。ヒキガエル、大きなナメクジ、きれいな景色、それらは「美しい地獄」にかわりました。石川県も原発がありますが、風向きによっては意外と広く汚染されます。福島では避難による家族の分断も多く、離婚率も増えています。また除染ははなはだ危険な仕事であり、どうしても放射能の汚染は人間を分断してしまいます。人間は原発との共存は不可能です。原発の永久な停止しかありません。

廃炉と経済ですが。技術の革新をしなければなりません。一時的苦労はあるでしょうが、人類はやらなければならぬのですし、やれます。福井県大飯原発は小学生も反対しています。省エネと言えば暗いイメージですが、人間知恵で無駄を省かねばなりません。動く歩道や 24 間営業のコンビニなど必要でしょうか？-----

点 鐘



米山記念奨学会に10万円のご寄付を頂きました。

韓国ソウル市在住の米山学友、李キョンヨブさん(1996-97/金沢RC)から



先月、李さんは母国に帰国後、剣道具の製造販売会社を設立し、「剣道名家」ブランドで全日本選手権優勝者など日本や世界各国に顧客を抱えています。また、2010年からは韓国米山学友会の監事に就任。2011年10月にはホームカミング制度で来日し、第2610地区のロータリアンとの旧交を温めました。

「いつも心に米山奨学生の誇りを刻んでいる」と語る李さんは、今回のご寄付について、次のようなメッセージを送ってくれました。

李キョンヨブさんより 帰国前、世話クラブが開いてくださった歓送パーティーで、私は「いつかは奨学金を与える立場になって、恩返ししたい」と、お話ししました。以来、自分にできる範囲で社会奉仕活動に励んできましたが、今年から少しずつでも米山記念奨学会への寄付を始めることにしました。「お父さん」と呼ばせていただいている金沢RCの渡辺次男さんをはじめ、ロータリーのご縁で出会うことができた素晴らしいロータリアンの皆さんとの友情や人間関係も、奨学会への寄付と同じように、一生続けられるように最善を尽くします

公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会 Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281
E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp 〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒井
龍芝公園ビル 3F URL : <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>

編集担当：野津のづ・峯みね

しいの木の会について

R I 2610 地区の石川第一分区のガバナーやガバナー補佐の経験者の交流会です。H20.11 に始まりました。これまでに年2回おこなっており、情報交換とロータリー知識の習得に努めています。今回は第8回目で9月17日(敬老の日)、18:00に「しいの木迎賓館 2 Fのジャルダン・ボギュース」に10人が集合、ロータリー談義をかわしました。その中で中川パストガバナーからの「日台ロータリー会議を金沢市に！」という話題がありました。特に金沢市は台湾と縁が深いので、実現をめざしたいとの事でした。 第8回幹事 金沢百万石RC 木場紀子(事務連絡先 石丸幹夫)



前列向かって左から石丸
中川 炭谷 田中
後列は柳生 井上 粟田
高本 福田 木場

中川可能作PGから：
日台ロータリー会議について さる9月17日、2610地区石川第1分区ガバナー・同補佐会同が金沢市の「しいの木迎賓館」(旧県庁)で開かれ、2016年に想定している標記第5回会議誘致につき協議、地区内で台湾でもっとも古い姉妹関係を持つ金澤

西RCとこれと子クラブになる白山RC、金澤みなとRC、さらには孫クラブとなる白山石川RC、野々市RCの分区内にある5RCが相協力して準備する(事務局を構成するの意)との方針を申し合わせました。

この会同は、親睦団体であり、拘束力は持っていませんが、関係者各自、上記の方針に沿って行動、金澤8RCへの働きかけも視野に入れ、時機を見て石川県知事に理解と協力を要請。順調に推移すれば、ガバナーの同意も得て、一般に公表する手順を考えています。会には10人が出席、今後他のメンバーにも趣旨賛同をお願いすることにしています。

小生としては、金澤への誘致というより、2610地区全体への誘致が上策かと表明しました。

すでに湯浅外志男ガバナーエレクトは、台湾で開かれる第4回大会に出向き、誘致の立候補を表明することを内諾しています。(9月13日、東京グランドプリンスホテル新高輪にて、永田義邦同ノミニー同席)同様、山野之義金澤市長は大賛成、激励の言葉を数々貰っております(8月13日)。